

脳神経外科学講座

著 書

- 1 阿部雅光：放射線治療。田淵和雄編：グリオーマー病態と治療。187-199。シュプリンガー・フェアラーク 東京。2006。
- 2 阿部雅光，徳丸直郎，香畑智彦，古田 誠，田淵和雄：傍矢状部髄膜腫治療における定位放射線治療の併用。田淵和雄編：脳腫瘍の外科。125-129。メディカ出版。大阪 2006。
- 3 松島俊夫：第1章 後頭蓋窩“3”つのルール。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp 1-6。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 4 松島俊夫：第2章 神経組織：脳幹，小脳半球と第四脳室。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp 7-16。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 5 松島俊夫：第3章 小脳動脈(上小脳動脈，前下小脳動脈，後下小脳動脈)。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp17-26。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 6 松島俊夫：第4章 後頭蓋窩静脈—命名について—。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp27-32。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 7 松島俊夫：第5章 後頭蓋窩架橋静脈。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp33-42。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 8 松島俊夫：第6章 正中後頭下開頭とそのバリエーション。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp43-52。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 9 松島俊夫：第7章 Cerebellomedullary fissure の外科解剖と Trans-cerebellomedullary fissure approach (medical route & lateral route)。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp53-64。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 10 松島俊夫：第8章 小脳橋角部—基本構造。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp65-70。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 11 松島俊夫：第9章 内耳孔近傍の外科解剖と聴神経腫瘍摘出術。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp71-80。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 12 松島俊夫：第10章 外側後頭下開頭—バリエーション。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp81-92。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 13 松島俊夫：第11章 神経血管減圧術のための外科解剖。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp93-100。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 14 松島俊夫：第12章 三叉神経痛に対する神経血管減圧術。Infratentorial lateral supracerebellar approach による tentorial stitched sling retraction method (小脳テント吊り輪牽引法)。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp101-108。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 15 松島俊夫：第13章 片側顔面神経に対する神経血管減圧術—infrafloccular approach (小脳片葉下経由法)。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp109-116。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 16 松島俊夫：第14章 大孔部の外科解剖—後方アプローチのために。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp117-128。サイメッドパブリケーションズ 東京。2006。
- 17 松島俊夫：第15章 大孔外側部の外科解剖とアプローチ。Transcondylar fossa approach (顆窩経由法) と Transcondylar approach (後頭顆経由法)。後頭蓋窩の外科解剖と手術。pp129-140。サ

- イメッドパブリケーションズ 東京, 2006.
- 18 松島俊夫：第16章 側頭骨—基本解剖, 後頭蓋窩の外科解剖と手術, pp141-152, サイメッドパブリケーションズ 東京, 2006.
 - 19 松島俊夫：第17章 後方並びに前方経錐体法, 後頭蓋窩の外科解剖と手術, pp153-166, サイメッドパブリケーションズ 東京, 2006.
 - 20 松島俊夫：第18章 頸静脈孔の外科解剖と頸静脈孔へのアプローチ, 特に infralabyrinthine approach, 後頭蓋窩の外科解剖と手術, pp167-182, サイメッドパブリケーションズ 東京, 2006.
 - 21 松島俊夫, 大畑建治：第四脳室の外科解剖と Trans-Cerebellomedullary Fissure Approach: Medial Route と Lateral Route, 顕微鏡下手術のための脳神経外科解剖 XVIII, pp39-48, サイメッド・パブリケーションズ 東京, 2006.
 - 22 松島俊夫：外側後頭下開頭法, 脳血管外科治療セミナー2006, pp19-31, 国立循環器病センター 吹田, 2006.
 - 23 峯田寿裕, 田渕和雄：田渕和雄編：ウィリスのゲノム検索, グリオーマ病態と治療—pp67-75, シュプリンガー・フェラーク 東京, 2006.
 - 24 峯田寿裕, 田渕和雄：岡本幸一, 棚橋紀夫, 水澤英洋編：脳腫瘍, グリオーマの最新の治療は, EBM 神経疾患の治療, pp165-168, 中外医学社, 2006.
 - 25 田渕和雄, 峯田寿裕：インフォームドコンセントの実践 脳腫瘍 星状細胞腫, 脳神経外科学大系 15巻 インフォームドコンセント, pp49-54, 中山書店, 東京.
 - 26 田渕和雄, 峯田寿裕：インフォームドコンセントの実践 脳腫瘍 退形成性星状細胞腫, 膠芽腫, 脳神経外科学大系 15巻 インフォームドコンセント, pp55-60, 中山書店, 東京.

学術論文

- 1 Abe M, Tokumaru S, Tabuchi K, Kida Y, Takagi M, Imamura J: Stereotactic radiation therapy with chemotherapy in the management of recurrent medulloblastomas. *Pediatric Neurosurg* 42: 81-88, 2006.
- 2 *Sugita Y, Kusano K, Tokunaga O, Mineta T, Abe M, Harada H, Shigemori M: Olfactory neuroepithelioma: An immunohistochemical and Ultrastructural study. *Neuropathology* 26: 400-408, 2006.
- 3 *Nagata S, Matsushima T, Morioka T, Matsukado K, Mihara F, Sasaki T, Fukui M: Unilaterally symptomatic moyamoya disease in children: Long-term follow-up of 20 patient. *Neurosurgery* 59: 830-837, 2006.
- 4 松島俊夫, 松山純子：Evandro de Oliveira, Special Interview “Evandro de Oliveira”. *脳神経外科速報* 16: 197-204, 2006.
- 5 松島俊夫：第四脳室腫瘍の治療戦略. *Clinical Neuroscience* 24: 1321-1324, 2006.
- 6 *米川泰弘, 松島俊夫：Special Interview “米川泰弘”. *脳神経外科速報* 16: 1053-1060, 2006.
- 7 峯田寿裕, 田渕和雄：脳深部病変としてのグリオーマ—悪性度の高い症例の治療戦略—. *Clinical Neuroscience* 24: 133-135, 2006.
- 8 *Glasker S, Sohn TS, Okamoto H, Li J, Lonser RR, Oldfield EH, Vortmeyer AO, Zhuang Z: Second hit deletion size in von Hippel-Lindau disease. *Ann Neurol* 59: 105-10. 2006.

- 9 *Lubensky IA, Vortmeyer AO, Stephanie K, Lonser RR, Park DM, Ikejiri B, Li J, Okamoto H, Walbridge S, Ryschkewitsch C, Major E, Oldfield EH, Zhuang Z: Identification of tumor precursor cells in the brains of primates with radiation-induced de novo glioblastomas multiforme. *Cell Cycle* 5: 452-6. 2006.
- 10 *Li J, Zhuang Z, Okamoto H, Vortmeyer AO, Park DM, Furuta M, Lee YS, Oldfield EH, Zeng W, Weil RJ: Proteomic profiling distinguishes astrocytomas of increasing malignancy and identifies differential tumor markers. *Neurology* 66: 733-36. 2006.
- 11 *Glasker S, Li J, Xia JB, Okamoto H, Zeng W, Lonser RR, Zhuang Z, Oldfield EH, Vortmeyer AO: Hemangioblastomas share protein expression with embryonal hemangioblast progenitor cell. *Cancer Res* 66: 4167-72. 2006.
- 12 *Glasker S, Vortmeyer AO, Lonser RR, Lubensky I.A, Okamoto H, Xia JB, Li J, Milne, E, Kowalak JA, Oldfield EH, Zhuang Z: Proteomic analysis of hemangioblastoma cyst fluid. *Cancer Biol Ther* 5: 549-53. 2006.
- 13 *Li J, Yin C, Okamoto H, Jaffe H, Oldfield EH, Zhuang Z, Vortmeyer AO, Rushing EJ: Proteomic analysis of inclusion body myositis. *J Neuropathol Exp Neurol* 65: 826-33. 2006.
- 14 Okamoto H, Li J, Vortmeyer AO, Jaffe H, Lee YS, Glasker S, Sohn TS, Zeng W, Ikejiri B, Proescholdt MA, Mayer C, Weil RJ, Oldfield EH, Zhuang Z: Comparative proteomic profiles of meningioma subtypes. *Cancer Res* 66: 10199-204. 2006.

学会発表

- 1 阿部雅光, 香畑智彦, 高瀬幸徳, 内野 晃, 田淵和雄, 中垣博之: クッシング病の MRI における可逆性の脳萎縮と白質の高信号. 第29回日本脳神経 CI 学会総会 (東京). 2006年1月27日. 抄録集: 93 (一般口演).
- 2 松島俊夫: 後頭下開頭の基本的手術手技. 第5回脳血管外科治療セミナー (豊中). 2006年1月27日.
- 3 *町 多賀雄, 疋田 孝, 佐本 研, 松島俊夫: もやもや病のマルチスライス 3DCTA (MS3DCTA) その有用性と MRA との比較. 第11回三次元 CT・MRI 研究会 (福岡). 2006年2月4日.
- 4 *町 多賀雄, 疋田 孝, 佐本 研, 松島俊夫: もやもや病のマルチスライス 3DCTA (MS3DCTA) その有用性と MRA との比較. 第35回日本脳卒中の外科 (横浜). 2006年3月21日.
- 5 *詠田真治, 松島俊夫, 森岡隆人, 松角宏一郎, 三原 太, 佐々木富男, 福井仁士: 治療経過中に新たな脳梗塞を生じた小児もやもや病22症例の検討. 第35回日本脳卒中の外科 (横浜). 2006年3月21日.
- 6 松島俊夫: 神経血管減圧術のための外科解剖. 第26回日本脳神経外科コンgres 総会 (東京). 2006年5月13日.
- 7 松島俊夫: 小脳延髄裂と第四脳室腫瘍. 第26回日本脳神経外科コンgres 総会 (東京). 2006年5月14日.
- 8 松島俊夫: 側頭骨の外科解剖. 第26回日本脳神経外科コンgres 総会 (東京). 2006年5月14日.
- 9 松島俊夫小脳橋角部の外科解剖. 第20回微小解剖セミナー (東京). 2006年5月15日.
- 10 Matsushima T, Albert L. Rhoton, Jr: Microsurgical anatomy of the cerebellomedullary fissure and surgical approaches around the fissure. 3rd International Symposium on the

Microsurgical Anatomy (Kemer, Turkey), Oct. 1, 2006.

- 11 Matsushima T., Albert L. Rhoton, Jr.: Three surgical approaches in the C-P angle for microvascular decompression surgery, for trigeminal neuralgia, hemifacial spasm and glossopharyngeal neuralgia. 3rd International Symposium on the Microsurgical Anatomy (Kemer, Turkey), Oct. 1, 2006.
- 12 Matsushima T., Albert L. Rhoton, Jr.: Surgical anatomy and approaches to the Foramen Magnum. 3rd International Symposium on the Microsurgical Anatomy (Kemer, Turkey), Oct. 1, 2006.
- 13 松島俊夫：小脳・第四脳室の外科解剖。第20回微小解剖セミナー（東京）。2006年5月15日。
- 14 岡本浩昌：プロテオミクス手法を利用した astrocytoma と oligodendroglioma の比較解析。第7回日本分子脳神経外科学会（東京）。2006年9月2日～3日。
- 15 岡本浩昌：Meningioma の subtype 間におけるプロテオミクスを用いた比較解析。第24回日本脳腫瘍学会。2006年10月1日～3日。
- 16 岡本浩昌：プロテオミクス解析を用いた oligodendroglioma における1p LOH の役割検索。第65回日本脳神経外科学会総会。2006年10月17日～20日。
- 17 松島俊夫：三叉神経痛症例に対する神経血管減圧術の治療成績—テント縫いつけ固定法を追加して。第24回九州疼痛学会。2006, 2, 18.
- 18 吉岡史隆, 大石 豪, 野田公寿茂, 古田 誠, 高瀬幸徳, 峯田寿裕, 阿部雅光：Parkinsonism で発症した海綿静脈洞部硬膜動脈静婁の一例。第93回日本脳神経外科学会九州地方会。2006, 6, 10.
- 19 上田茂雄, 若宮富浩, 吉岡史隆, 大石 豪, 古田 誠, 峯田寿裕, 阿部雅光：定位放射線治療後に嚢胞性増大を来した前庭神経鞘腫の一例。第94回日本脳神経外科学会九州地方会。2006, 9, 16.
- 20 町 多賀雄, 松島俊夫：小脳テント髄膜腫の手術。第5回福岡手術ビデオカンファレンス。2006, 2, 24.
- 21 松島俊夫：大孔の外科解剖と手術。茶の水脳神経外科セミナー。2006, 3, 4.
- 22 松島俊夫：Transcondylar fossa approach. 第12回愛知頭蓋底脊椎手術手技ワークショップ。2006, 5, 22.
- 23 松島俊夫：Transcondylar fossa approach.. 自治医科大学 微小解剖セミナー。2006, 6, 27.
- 24 峯田寿裕：脳腫瘍治療の最近の動向—膠芽腫, 悪性リンパ腫を中心に。第27回佐賀県脳神経外科懇話会。2006, 1, 14.
- 25 吉岡史隆, 野田公寿茂, 古田 誠, 峯田寿裕, 田淵和雄：Parry-Romberg syndrome を伴った Malignant lymphoma の一例。第27回佐賀県脳神経外科懇話会。2006, 1, 14.
- 26 前田健二, 坂田修治, 増岡 淳：出血で発症した anaplastic meningioma の一例。第27回佐賀県脳神経外科懇話会。2006, 1, 14.
- 27 若宮富浩, 吉岡史隆, 大石 豪, 野田公寿茂, 古田誠, 高瀬幸徳, 峯田寿裕, 阿部雅光：Parkinsonism で発症した海綿静脈洞部硬膜動脈静婁の一例。第28回佐賀県脳神経懇話会。2006, 7, 22.
- 28 井上浩平, 萩原直司, 渡辺光夫, 田淵和雄：硬膜下水腫の経過観察中に急性水頭症を来した一例。第28回佐賀県脳神経懇話会。2006, 7, 22.
- 29 増岡 淳, 坂田修治, 前田健二：第4脳室類表皮嚢胞と小脳悪性リンパ腫の合併例。第28回佐賀県脳神経懇話会。2006, 7, 22.

研究助成等

職名	氏名	補助金(研究助成)等の名称	種目	研究課題等	交付金額 (千円)
講師	峯田 寿裕	平成18年度文部科学省科学研究費補助金	基盤研究(B)	新規ゲノムマイクロアレイによる骨髄幹細胞由来膠芽腫幹細胞の解析	3,500